

WEEKLY REPORT

第2730地区

2014～15年度

南九州大崎ロータリークラブ週報



RI会長： ゲイリーC.K.ホアン

ガバナー： 田中 俊 實 (鹿屋 RC)

例会日：毎週木曜日 第1週のみ12:30～ 第2・3・4・5週は、19:30～

例会場：温泉施設 あすばる大崎(大崎町 神領2419) TEL099-471-6666

会長：溝口鉄二郎 TEL099-471-2188 / 幹事：市坪新悟 TEL099-478-2104

事務局：鹿児島県曾於郡大崎町永吉 6059番地 TEL476-2461・Fax 476-2491

2014～15年度RIテーマ

<http://www.mko-rc.jp/>

E-mail : oosaki@mko-rc.jp

第788回例会

平成26年11月20日(木)19:30～(溝口年度 第19号)

◆本日のゲスト

大崎町役場より

マゴメ ヒロシ 様 (建設課)
馬込 洋志 様

タジツ リョウ 様 (企画調整課)
田實 涼 様

ナカハマ リョウヤ 様 (農林振興課)
中濱 僚也 様

ハラダ ダイスケ 様 (農林振興課)
原田 大資 様



◆本日のプログラム

『RYLA報告』

担当：青少年奉仕

◆ロータリーソング

- ・君が代
- ・それでこそロータリー
- ・四つのテスト唱和

◆会務報告

☆お礼(都城RCより)

☆宮崎全県IM(都市連合会)のご案内

講演会(登録料 2,000円)

日時：平成27年3月14日(土)13:30～16:15

場所：シーガイア・コンベンションセンター

講演者
田中 作次 バストRI会長

懇親会(参加費 3,000円)

日時：平成27年3月14日(土)16:30～19:00

場所：同上

ゴルフ

日時：平成27年3月15日(日)

場所：フェニックス・カントリー

※お申込みは回覧申込書へご記入下さい

☆ロータリー財団寄付(2013-14年度実績)に
対するバナー等送付について

☆地区大会表彰状の送付

《11月例会変更のお知らせ》

【鹿屋西RC】

11/24(月)振替休日につき休会

【串良RC】

11/24(月)振替休日につき休会

【志布志みなとRC】

11/26(水)→23日(日)へ変更(サッカー大会)

時間未定 しおかぜ公園

IM(Intercity Meeting)とは？

インターシティーミーティング。グループ、分区単位で、ガバナー補佐が主催して開かれることが多いようです。テーマはロータリーのこと、そして一般社会のことで、そのときに話題になっていること、考えなければならぬ問題点など、多岐にわたります。形式も講演、フォーラムなどいろいろあります。この会合では、知識を広め深めるとともに、グループ、分区内の会員の親睦も重要な目的ですから、懇親会も併せて開催されます。

本日締切です！

田中ガバナー慰労会出欠をご記入下さい(回覧)

日時：平成26年12月5日(金) 19:00～21:00

場所：ホテルさつき苑 会費：4,000円

【次週例会のご案内】

※ 例会 ※

11月27日(木) 19:30～ あすばる大崎にて

プログラム「クラブ協議会」 担当：会長

※各委員長さんは上半期の活動報告等発表をお願い致します

クラブ協議会資料をご持参下さい。
委員長さん欠席の場合は代理発表のご依頼までお願い致します。

出席報告	11	会員数	26名	11	出席率	42.31%	鹿屋西	月	17	通常例会	昼	24	祝日休会	
		出席数	9名		出席数	17名	串良	月	17	通常例会	昼	24	祝日休会	
		出席率	34.62%		修正出席率	65.38%	志布志	火	18	通常例会	夜	25	通常例会	昼
	13	欠席者：安楽・大野・市坪 玉田・徳重・松永・今福・溝口 久徳(博)・上村・白山・豊住 新小倉・中倉・山下・福留・久徳	5	メイクアップ：楠田・市坪 白山・竹下・平野・新小倉	志布志みなと	水	19	通常例会	夜	26	23日～			
				鹿屋	水	19	通常例会	昼	26	通常例会	昼			
				かのや東	木	20	通常例会	昼	27	通常例会	昼			
				きもつき	木	20	クラブ協議会	夜	27	通常例会	昼			

出席率向上に努めましょう！

R財団について

R財団委員長 新堂 陽一

皆さんこんばんは。今夜はロータリー財団の話しをしようと思ったのですが、NHKのサラメシに叔父の瀬戸上健二郎が、出演したので紹介します。



DVDに録画したので見てください。10周年記念公演をしてくれましたので、叔父の近況を紹介します。

ドクターコトも医者が無養生で、一時期すごく太ったのですが、炭水化物ダイエットをして痩せました。体調も大変良いそうです。今も仕事だけでなく公演をしたり全国を忙しそうに飛び回っています。

ロータリーはポリオ撲滅に力を入れています。ドクターコトもいろいろな病気と日々戦っています。また機会がありましたら公演していただきませんか？



皆さんも健康に気をつけましょう。



東南アジアでポリオ撲滅を達成 (ロータリー HP より)

3月27日、世界保健機関(WHO)は、東南アジア地域でポリオ撲滅が達成されたことを公式に宣言しました。これは、同地域での長年にわたるポリオ撲滅活動が実を結び、ついに撲滅が達成されたものです。東南アジアに含まれるインドは、5年前に全世界のポリオ感染数の半数近くを占めていましたが、2011年1月13日に西ベンガル州で最後の野生型ポリオウイルス感染が報告されて以来、ポリオのない状態が続いていました。「今回の達成は、世界ポリオ撲滅推進計画(GPEI)にとって大きな節目となる」と話すのは、ロータリー財団の管理委員会委員長を務める李東建氏。3月27日にインドのニューデリー州で開かれたWHO 東南アジア地域ポリオ根絶認定委員会の会合に出席し、撲滅達成の重要性をあらためて強調しました。「ついに、東南アジアからポリオをなくすことができましたが、残るアジア地域とアフリカでも、撲滅を達成しなければなりません」今回、ポリオ撲滅が宣言されたのは、バングラデシュ、ブータン、北朝鮮、インド、インドネシア、モルジブ、ミャンマー、ネパール、スリランカ、タイ、東チモールを含む地域で、世界人口の約25パーセントにあたる、18億人以上が暮らしています。WHOは、今回の東南アジア以外にも、アメリカ大陸(1994年)、西太平洋地域(2000年)、ヨーロッパ地域(2002年)のポリオ撲滅を既に宣言しており、2018年までにポリオのない世界を実現するという目標に向けて拍車がかかりました。

多くの課題を乗り越えて

東南アジアでは、都市部の人口密集、移動の多い民族、

衛生問題など、ポリオ撲滅を妨げる数多くの課題がありました。ロータリーのインド・ポリオプラス委員会では委員長を務めるディーパク・カプール氏も、困難を極めた本国での活動について語ります。「課題や障害を乗り越えて撲滅を達成するまでに、政府とパートナー団体が総勢でこの大きな仕事に取り組みました。全国一斉予防接種からその後のフォローアップまで、インド国内の10万人以上のロータリー会員が全力で活動にあたりました」さらに、「これまでの広範にわたる活動を通じて、イスラム教徒やそのリーダーにポリオ予防接種に対する理解を深めてもらい、また信頼関係を築くことができた」と指摘するのはアショク・マハジャン氏(ロータリー財団元管理委員)です。ロータリークラブの中には、ポリオ予防接種と同時に、はしかの予防接種、無料の健康診断、医療品、ビタミンA剤、メガネなどを提供し、より包括的な保健医療支援を行ったところもありました。スリランカでは、内戦状態の続いた1990年代、停戦の合間を縫って精力的な全国一斉予防接種を続けました。その活動の第一歩となったのは、ロータリーのリーダーとユニセフが、反政府武装組織「タミル・イーラム解放のトラ」と話し合ったこと。反政府組織は「予防接種は子どもたちのためのものであり、子どもは私たちの敵ではない」とし、ロータリーとユニセフが2日間の停戦を政府に説得できれば、同組織もその間に戦闘を停止すると約束しました。以来、全国一斉予防接種の日は、「休戦の日」として知られています。バングラデシュでは、ロータリー、WHO、ユニセフが協力して、ポリオ撲滅の重要性について人びとの理解と認識を深め、全国一斉予防接種日に子どもに予防接種を受けさせるよう親へ働きかけました。またネパールでは、国内でのポリオ撲滅に、ロータリー、政府、WHO、ユニセフが協力。全国一斉予防接種を始めた1996年からわずか4年で、野生型ポリオウイルスの感染を断ち切ることに成功しました。



次は世界でポリオ撲滅を

東南アジア地域でのポリオ撲滅を祝い、3月29～30日にニューデリーで開かれた特別行事「Polio Free Conclave」には1,500人以上のロータリー会員が出席しました。この行事では、GPEIパートナー組織が世界でポリオを撲滅するための決意を新たにし、インドをはじめとする各国で学んだ活動の教訓を今後の取り組みに生かすことを確認しました。GPEIのこれからの課題は、ポリオ感染が今だ恒常的に続く3カ国(アフガニスタン、パキスタン、ナイジェリア)で、ポリオを撲滅することです。近年では、中東と東アフリカで突発的なポリオ感染が報告されており、ポリオのなくなった国でも再び感染の広がる恐れがあります。国際ロータリーの元会長、ラジェンドラ・サブー氏も、今後の取り組みに期待を高めて話します。「これまでの教訓や活動経験を基に、今度はインドがほかの国のために活動するとき、ほかの国の子どもたちを守り、そして自国の子どもたちも守るために、全力で支援を続けなければなりません。インドでのポリオ撲滅、そして東南アジア地域での撲滅宣言を足がかりに、ポリオ撲滅への声を一層高め、全世界でのポリオ撲滅まで最後の一押しが必要です」